



# 横浜市立荇田南中学校 学校だより

1月号

平成30年12月21日発行

横浜市都筑区荇田南2-5-1

TEL 045-942-0960

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/edaminami/>

## 人権週間によせて

校長 松浦 良彦

先日、早朝の自転車で鶴見川のサイクリングコースを走りました。その日は一段と冷え込みが厳しく、顔にあたる冷たい風が清々しく手先のかじかみや耳の痛さを忘れるほどでした。ふと川面を見ると白い霧がのぼっており、幻想的な風景が広がっていました。所々にじっとたたずむ白鷺や、川面に浮かぶ鴨がいたり、流れの緩やかな所には大きな鯉がゆっくり泳いでいたり、普段とちがう自然や生き物に触れ、心身ともにリフレッシュすることができました。

そんな風景を見ていて、ほかの人がこの景色を見たときどんなことを感じるのだろうかという疑問が頭に浮かびました。「ある人はその美しさに感動して画や詩に表したいと思うかもしれない。ある人はなぜ川霧が発生するのだろうか、気温と川の水の温度の関係を考えるかもしれない。また別の人はその生き物たちに一番の関心を寄せるかもしれない。感じ方は人それぞれ。どの感じ方もそれぞれの個性で誰が正しいということはない」。冬の冷たい空気が自分の感性をくすぐったのかもしれない。

さて、12月4日から10日は人権週間でした。これは昭和23年12月10日、国際連合の第3回総会において「世界人権宣言」を採択したことにちなんで制定され、今年で第70回を迎えたそうです。今年の啓発活動重点目標は「<<世界人権宣言70周年>>みんなで築こう 人権の世紀 ~ 考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心 ~」でした。この機会に荇田南中でも生徒たちから人権標語を募集し、学校内外において「思いやりの心」や「かけがえのない命」について考え、実践するための啓発を行いました。次に、生徒たちが考えた標語の一部をご紹介します。



- スケッチブックに染まる色 みんなカラフル 素敵な個性
- 消さないで 自分の色と 相手の色
- 優しさは 助けるための たてになる
- 私の思い あなたの思い 言いたい 知りたい 伝えたい
- みんな同じ「人」であり みんな違う「人」である
- 一人の意見が 誰かの希望の虹になる 考えることもみんなの人権
- 人種さえ 垣根を越えた 親友へ
- 映そうよ その目にたくさん 相手の心
- 気づいてる? その一言で 救われる
- いじめって何? そんな未来にしてみよう



- 人々が見ている空は 繋がっている 持ってる心も繋がろう
- あなたの色を僕の色でつなぐ あなたの色は決して消さない
- なくしていこう身勝手を 増やしていこう優しさを
- 気付いてる? あなたの発言 相手を傷つけている事。
- 広げよう認め合う心 つなげよう思いやりの気持ち
- 伝えよう 自分の気持ち 聞いてあげよう 他人の気持ち
- 気づかいで世界が変わり 人変わる
- 考えよう相手の気持ち 見直そう自分の行動 認めよう一人ひとりがもっているそれぞれの色

(順不同)

子どもたちの作品ですが、われわれ大人も考えさせられるものがありました。これらの標語をもとに人権ポスターを作成し、地域福祉作品展として、学区各小学校の福祉に関する発表とともに区役所のホールに掲示しました。(右上写真: 12月13日~19日)

新しい年を迎えるにあたり、誰もが安心して伸びやかに自己実現を目指せる学校をつくるため職員一同、取り組んでまいります。今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



## 冬季休業中のお問い合わせ等について

冬季休業期間中の12月26日(水)~28日(金)および1月4日(金)は、8:20から16:50まで日直の職員が出勤しております。それ以外の日については平常の土曜日曜と同様の対応となりますのでご了承ください。(冬季休業期間: 12月26日~1月6日)